

# A Whisper of the Month

PHOTO by MARIKO

## 神無月

高島典子

いくつもの夜を過ごし

いくつもの朝を迎え

積み重ねてきた日々

そのすべてが

今

私のゆく道を創る

迷い

悩み

疲れ果てたとしても

揺るぎない強さは

確かな魂の芯となる

見上げれば

蒼い月

時空を超えた

神々の宿命（さだめ）

☆プロフィール☆  
鹿児島県出身、神戸在住。フリー  
アナウンサーとして活躍中。  
好きな言葉は「二期一会」。

### <プロフィール>

96年からフランス在住。日本の雑誌やHPに記事を書きながら、パリ発行の日本語情報誌(現在は情報サイト)『Bisou』の編集長を務める。著書には芝山由美のペンネームで、OLの留学体験記『夢は待ってくれる 女32才厄年、フランスに渡る』(発行元東京文献センター)、『べべ (bebe) ちゃん教育』(でじたる書房)がある。

江草 フランスは印刷費がとて高いんです。そしてフランスも大不況。広告が

取れなくなると維持していけなくなり、通算60号まで発行してきた時点で、ちょうど還暦♪だ〜と、きつぱり終刊したので。でもやっぱり、ピアンエートルで培った「もったいない精神」が!!

須澤 これまでの企画編集、取材、広告取りなどでエピソードがありますか?

江草 立ち上げて11年になるので、エピソードは山ほどあります。印刷会社から期日に納品されなかったり、部数も異なっていたりなどの、毎回起こるハプニングをどうにかこうにか乗り越えて、ここまで続けてこれた!という感じですね。振り返ると、本当にたくさんの人との出会いがあって、人と人とのつながりがここまで続けてこられた大きな要因だったんだろうなと実感しています。

須澤 最近、ウェブマガジンへとシフトされましたが。

江草 フランスは印刷費がとて高いんです。そしてフランスも大不況。広告が

取れなくなると維持していけなくなり、通算60号まで発行してきた時点で、ちょうど還暦♪だ〜と、きつぱり終刊したので。でもやっぱり、ピアンエートルで培った「もったいない精神」が!!

須澤 バイリンガルで同じ内容が掲載されているので、フランス語の勉強にもなりますね!今後の抱負をどうぞ。

江草 実は以前から、「ビス」って意志を持った媒体で、勝手に育って、自分で変化しているという印象が強くて、私はそれを単に手助けしているだけという気がしていました。だから、私自身がこの「ビス・ジャポン」をどうするかではなく、この雑誌がどう成長していくのか、それを見るのが楽しみ!という気分なんですよ。日本の皆様にも「ビス・ジャポン」を読んでいただけたら嬉しいですね!

須澤 その節は、大変お世話になりました! 「Bisou (ビス)」という在仏日本人向けのフリーマガジンを長らく編集・発行しておられました、どのようなマガジンだったのですか?

江草 最初は日本人女性2人が立ち上げた雑誌で、私がお手伝いのつもりだったのですが、気がついたら2人も止めてしまっていて、いつの間にか私が責任者になっていたんです(笑)。その頃は留学生だったので、日本人留学生に役立つフランスの専門学校情報やフランス人の友達をつくる方法などを掲載していました。

須澤 その後結婚して子供が生まれたのですが、30号を区切りに終刊しようと思ったのですが、周囲の「寂しいわ」、「楽しみに

しているから続けて」という声を受けて子どものいる日仏家族や在仏日本人家族をターゲットにした「Bisou Famille (ビス・ファミリー)」にリニューアルしてフランスの学校制度や子育てグッズ、フランスの薬局で買える子どもの薬などの特集を組みました。

そして、エコとかナチュラルなものに興味を湧いてからは、フランスでもエコやロハスがブームになったこともあって「Bisou bien-être (ビス・ピアンエートル)」に再びリニューアルして、エコや



エディター&ライター  
江草 由香

## 「Bisou」の成長を見守って



5年前、Hands Out海外便りシリーズに寄稿して下さる海外在住日本人を募っていた時に、当時フランスでフリーマガジン「Bisou」を編集・発行されていたエディター&ライター・江草由香さんが、ネットで広く呼びかけてくださって多くの寄稿者が集まった。その江草さんが発行してこられた「Bisou」が最近になって、ウェブマガジン「Bisou Japon」にシフトした。



<http://www.bisoujapon.com>



Bisou bien-être Vol.7



Bisou Vol.30



Bisou Famille Vol.14

<プロフィール>

予備校講師歴20年。

関西～名古屋の大学受験予備校での指導経験豊富。現在元町にて「さくらみかふえ&ギャラリー」を経営。カフェにて不定期に『大人のための古文講座』を開催中。一方でろうけつ染めの技法による美術作家としても活動。西洋占星術師としての顔も持つ。

『いやしき言もわるき言も、さと知りながら、ことさらに言ひたるは、あしうもあらず。わがもてつけたるを、つつみなく言ひたるはあさましきわざなり。』(下品な言葉も汚い言葉もわかかって使うのは悪いことじゃない、自分で勝手に考えた言葉をTPOをわきまえず使うのが

よね。大人がちゃんとした言葉をちゃんとしたところで堂々と使っていれば、日本語は大丈夫、って気がするんですけどね。今の若者に『かたはらい

清少納言の『枕草子』に『ふと心劣り(「幻滅」とかするものは)という段があります。この段はよく、「千年前の大昔でも、若者の言葉は乱れていて清少納言はそれを批判している」というような解説がされているのですが、それってホントにそうなの？ってワタシ的(↑言葉乱れます)には思っています。この段で、清少納言は語り始めます。「男でも女でも、会話で使う言葉が下品なのって何事にもましてよくないものよね。たった一つの言葉で会話全体が上品にも下品にもなるのはどういうわけかしらねー」と。そしてこの段の終わりの方に、『そのこととさせんとす』『言はんとす』『何せんとす』などと言う時に

『と』という文字を抜いて『言はんとす』『里へ出でんとす』などと言ってるのはもうそれだけでヤな感じだわ。ましてや手紙に書くなんて最悪』と、具体例を出して『言葉の乱れ』を嘆いているのです。清少納言は、他にも『一つ車に(「同じ車に」を『ひてつ車に』と言う人もいたし、『求む』求める』を『みてむ』なんて言う人は結構いるな』と『美しくない表現』を具体的に挙げています。

しかし、『んずる』という表現は中世以降定着し、軍記物などでもごく一般的に使われる助動詞となりました。だから、清少納言が嘆いたところで、言葉って生き物だから時代とともに変化していくし、それをどうのこうの言ったところで詮の無いことじゃないか、という反論も成り立ちますよね、確かに。

呆れるのよ。) さらに『さもあるまじき老いたる人、男などの、わざとつくるひ鄙びたるは憎し。まさなき言もあやしき言も、大人なるは、まのもなく言ひたるを、若き人はいみじうかたはらいたきことに聞き入りたるこそ、さるべきことなれ。』(いい身分のいい年したおっさんが、わざと媚を売るかのように品無く喋ってるのって腹立つわー。間違った言葉、下品な言葉を大人の大人が平気で言ってるのを若い人達は「めっちゃイタイ」と思ってじっと聞いてるっていうけど、ホントにそうだよね。)

ちゃんと読めば、「若者の言葉の乱れ批判」どころか「ちゃんとした言葉遣いのできないオヤジへの批判」。若者にはむしろ共感の眼を持っていてる感じです。一番みっともないのは若者に迎合する大人、なのですよ。

『かたはらいたし』というのは『傍痛し』と書き、「そばで見ていると恥ずかしい」という気持ちを表す言葉なんです、これってまさしく、現代語の「イタイ」と同義なんですよね。





アルフレッド・シスレー  
＜朝日を浴びるモレ教会＞1893年



フィンセント・ファン・ゴッホ  
＜郵便配達人 ジョセフ・ルーラン＞  
1888年



ファン・グリス  
＜ピエロ＞1919年



アンリ・ルソー  
＜赤ん坊のお祝い！＞1903年

スイス発—知られざるヨーロッパ・モダンの殿堂

## ザ・コレクション ヴィンタートゥール

Masterpieces from the Collection of the Kunstmuseum Winterthur

2010年10月21日(木)～12月26日(日)

ゴッホも、ルノワールも、すべてが日本初公開!!

会場 ● 兵庫県立美術館

開館時間 ● 午前10時～午後6時(金・土曜日は午後8時まで)

入館は閉館の30分前まで / 休館日: 毎週月曜日(ただし祝日の場合は翌火曜日に休館)

観覧料 ● 大人 1,300 (1,100) 円 / 大学生 900 (700) 円 / 高校生・65歳以上 650 (550) 円  
中学生以下無料

( ) 内は前売料金および20名以上の団体料金、ただし高校生・65歳以上は前売なし  
障害をお持ちの方とその介護の方(1名)は各当日料金の半額(証明書提示要)

スイスの小都市ヴィンタートゥールは、資産家たちが数多くの美術作品を集めた優れた文化都市として知られます。なかでも街の中核施設ヴィンタートゥール美術館は、ヨーロッパ近現代の美術を一望できる良質なコレクションを誇ります。本展は、これまで国外でまとめて展示されることのなかった作品群を初めて大規模に紹介するもので、出品作品90点はすべて日本初公開です。ファン・ゴッホやルノワール、ピカソら巨匠の名品に加え、ホドラーやジャコメッティなど、スイスおよびドイツ美術の優品も並べ、近代美術のダイナミックな展開を幅広い視野から展観します。

### 兵庫県立美術館

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 TEL078-262-0901 <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

◆阪神岩屋駅から南に徒歩8分 ◆JR 灘駅から南に徒歩10分 ◆阪急王子公園駅から南西に徒歩20分 ◆JR 三ノ宮駅南から阪神バス13分 ◆神戸市バス16分 ◆地下駐車場80台収容・有料 ◆団体バスはバス待機所を要予約

主催 ● 兵庫県立美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会

後援 ● スイス大使館 / 財団法人伊藤文化財団 / 兵庫県 / 兵庫県教育委員会 / 神戸市 / 神戸市教育委員会

協力 ● 日本航空 / Lufthansa Cargo AG / スイス インターナショナルエアラインズ / ホテルオークラ神戸

10組20名様に招待券をプレゼント!! 左上のメールフォームより氏名・住所を明記の上、10月末日までにご応募ください。

## Hands Out Duex Vol.9



### Staff

発行者★須澤まりこ  
ウェブデザイナー★日上和也  
グラフィックデザイナー★AKEMI  
編集 / 構成★須澤まりこ  
校正★AIKO  
★水嶋康世  
制作 / 配信★有限会社 Mallion

無断転載禁止

■記事広告掲載のお問い合わせは  
有限会社 Mallion  
E-mail:mallion55@mallion.biz

まりこのおすすめ ちょっと気になるライブ

### 重松壮一郎 & 松本みのぶ

ピアノとろうけつ染め

## 秋のコンサート

2010年11月13日(土)

PM18:30~

- 会場 さくらみかふえ  
www.kcc.zaq.ne.jp/sakurami
- 料金 2,500円(軽食と1 drink 付)
- 予約 078-392-2533 (さくらみかふえ)  
sakurami@kcc.zaq.ne.jp

音が色に染まり、色が音に染まる美しい秋の夕べ。森のピアニスト・重松壮一郎さん、ろうけつ染めアーティスト・松本みのぶさんによるコラボレーション・コンサートをどうぞお楽しみください。

まりこのおすすめ ちょっと気になるライブ

ライブあり、落語あり、ハプマイムあり♪

## oto kithen vol.2

2010年11月23日(火・祝)

PM17:30~

- 会場 高架伍拾七 (JR 兵庫駅)  
TEL 078-578-6222  
http://www.coca57.com/
- 料金 2,000円(1 drink 付)  
学生料金 1,000円(1 drink)
- 予約 oto.kitchen@gmail.com

oto kithen が、昭和で！ロックで！からくりいっぱい『高架伍拾七』で開店♪ライブあり、落語あり、ハプマイム(お芝居)ありの、一夜限りの美味しい時間をご賞味ください。

動物の赤ちゃんの生まれてからほんのしばらくの間の可愛らしさと言ったら、尋常じゃないよね！ふにゃふにゃと、腕の中で安心して寝ていたりしたら、もう、たまらない。ああ、いつまでも、この大きさをずっとほしい！と願うけれど、残念ながら、あつとという間にその時期は過ぎて、どんどん大きくなっていく。

ティーカップ・ブードルは、多分、その時期をずっと味わいたいということから作られたのだろうけれど、生まれた時から餌の量を極端に減らして、あの小ささを保っているのだそうだ。極度の栄養失調ということよねえ。病弱で、長生きできないらしい。そこまでして、どうなんだらう？バッグに入れて連れ歩けるのがいらいしく、きつと、アクセサリー感

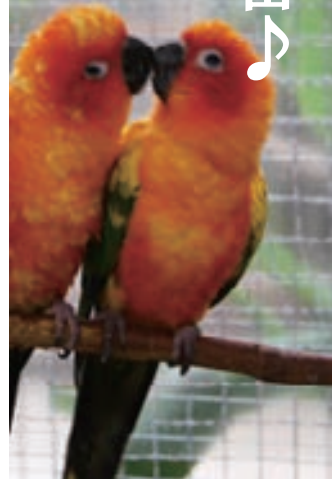
覚なのだろうけれど、生命を弄んでいるような気がして仕方がない。

我が家の愛犬、2歳のトイプードルは、少々大きめ。興奮すると、気が狂ったように室内の障害物を器用に避けながら走り回っているけれど、骨格がしっかりして、足腰が強そうなので、骨折やら筋肉を痛める心配をせずに済んでいる。

ところが先日、お腹に赤い斑点が！獣医さんによると、自己免疫性疾患だそうで、病院に連れて行くのが遅すぎたら死んでいたかもしれないところだった。生まれつきの体質らしい。ステロイド投与で今はとても元気だけれど、再発の可能性は常にある。この子がいない生活なんて考えられない。少々でかくてもいい、ずっと健康でいてくれるのが一番だ。



## 健康が一番♪



### ★編集後記★

いきなり秋に突入して、ホツとするやら、面食らうやら。やっとこさ衣替えをして、秋ファッションを満喫します♪

(MARIKO)

一気に秋になりました。これも異常気象の一角なのでしょう？地球にエコなこと何ができるだろうかと考えてみたけど、家電系しか思いつかない。

(KAZUYA)

ダイエツトする！と一大決心をしたのが10カ月前。マイナス20キロの減量で脂肪と一緒に体力も落ちてしまった模様。ちよつと張り切りすぎたと反省のこの頃です。

(AKEMI)

先日、大好きなピーター・ラビットの湖水地方まで足を伸ばしてきました。もうコートがないと寒いくらいで、イギリスの秋は早いです。

(AIKO)

秋めいてきましたね。とは言え、暑がりのあたしからしたら、まだ少し残暑気分。もうちよつと涼しくなったらどこか遠出したいですね♪

(YASYO)